

秋のマトモアゼル

カメラ・藤原保之

恵美子さんは甲南女子大学国文科に在学中のお嬢さんです。昨年はカリフォルニア大学サマーセッションに出席されたり、いまは美術部のキャプテン、スポーツはバスケットとなかなかのスーパーレディです。今秋のテーマカラー「枯葉色」のスーツをお召の恵美子さんの、チャーミングなお声が誌上にのらないのが非常に残念です。

すいせん／中島嘉子（アトリエ・ヨシコ）

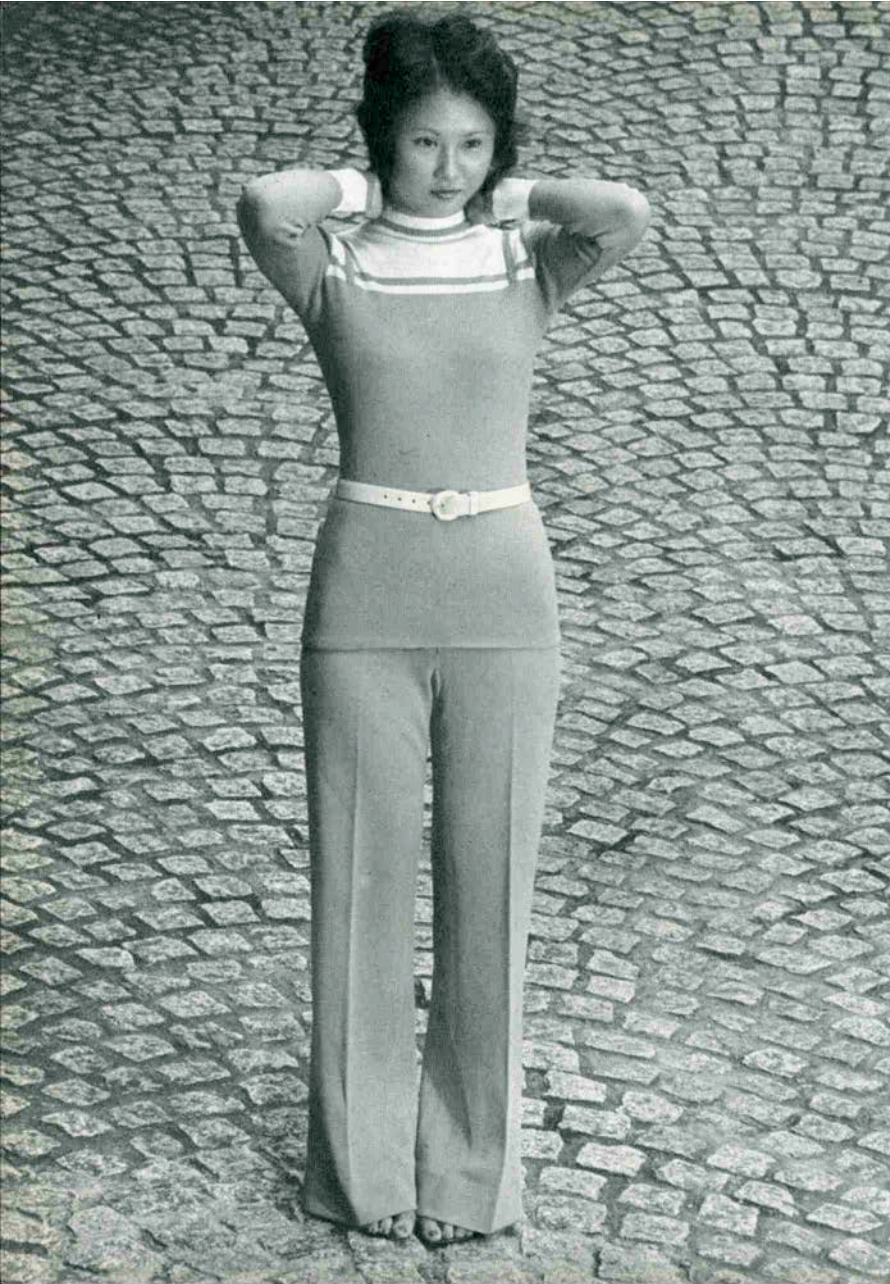
■旧関西学院チャペルにて
鬼塚恵美子さん



■小原会館の石畳にて
川上祐岐子さん

小学生の頃からのおつきあい目立たない色を可愛く着こなす品のよいセンスを身につけてらっしゃるお嬢さんです。ファッションには抜群の感覚をもたれ、私どもも、よくそのアイディアをお借りするんですよ。お稽古ごとで多忙な大学生活のこのごろですが、女性らしい大人のふん囲気の漂うステキなお嬢さんですね。

すいせん／エスター・フク・ニュートン（オートクチュール・エスター・ニュートン）



■県立近代美術館にて
長谷川有美子さん

明朗でとても好感のもてる有美子さんは、トア・ロードにある長谷川スポーツ店のお嬢さん。そのせいか、どちらかというとスポーティな洋服をお好みですね。神戸女学院に在学中の知的で、素直で、可愛くて三拍子そろった評判のよいお嬢さんです。

すいせん／杉浦元子（スギヤ）



■南洋植物園、異人館の窓で
宮川和子さん

一人っ子の甘えん坊で、とてもかわいいお嬢さんです。普段は、ピンクのGパンなどでさっそうと車を乗り回わしている近代的な和子さんは、スタイルがいいので何を着ても似合う方ですね。今日はマキシドレスでおめかしして、ちょっと背のびしてみました”という感じ。はずかしそうな表情の中に、ふと女らしさを感じます。

すいせん 藤本ハルミ（オートクチュール・マーガレット）



■北野町YANAGASEの前で
木村弘子さん

センスがよく、着こなすだけのプロボーシンのよさをもつ弘子さんは、芦屋短大を卒業、いまはお母さんのお手伝いをしながら花嫁修業中のお嬢さん。洋服らしい洋服を選ばれる、なかなか目の高い方です。ちよっぴり、はずかしがりやでおとなしい育ちのよさを感じさせるお嬢さんです。

すいせん／芹沢利雄（ヘセリザワ）



■摩耶埠頭で
松本多恵子さん

近代的な中にも、しとやかで親孝行な一面をのぞかせる多恵子さんは甲南女子大学に在学中。お母さんのご意見をよく聞いて洋服を選ばれますが、お嬢さんらしいロマンチックなものがお好きなようです。アナウンスの勉強・英会話、お茶、お花……と忙しく飛びまわっている彼女。ケーキが大好き！というチャームポイントなお嬢さんです。

すいせん 砂川松枝（オートクチュール・カセット）



SANOHE

Capital Fair

'74 Spring-Summer Collection

10/23・24 ニューポートホテル

< 舞子の間 >

show time

a.m. 11:00 p.m. 2:30

SANOHE

元町2丁目 TEL 331-4707-8

Salon Elégant

SANOHE

神戸トアロード TEL 331-1952

東京渋谷東急百貨店本店2F

大阪阪急百貨店本店2F

神戸そこう3F 特選サロン



生田神社会館にて
衣裳協力／美容室エリザベス
モデル／原真由美さん

晴れの日を飾る
愛の花は
シンコーフラワーで

世界の主な都市へ
あなたのお花を
お届けします。



株式会社

**シンコーフラワー
センター**

本店 三宮トア・ロード TEL 078 (331) 9221
オリエンタルホテル店 TEL 078 (331) 3337
神戸国際会館売場 TEL 078 (231) 2868
芦屋店 TEL 0797(31)1027
三越百貨店内 TEL 078(341) 7471

KOBE

名品銘店 (8)

靴と舶来雑貨のクロス



トア・ロードのクロス

朝の散策に精悍な長い足のボクサーをつれて、トア・ロードの坂道を降りてくるプロンドの少女。きゅっと足首のしまったチャイナドレスの中国女性が坂道を登って行く。赤と白と黒のストライプのテントがすいと伸びている。『クロス』のウインド。スイスのバリーシューズ、手づくりのスペイン家具に、ランバンやジバンシーのセーター、ネクタイ、シャネルの香水などが、さりげなくディスプレイされ、トア・ロードの店らしいエレガンスを感じる舶来雑貨と靴の専門店だ。

昭和10年頃、ハイヒールは、日本の中でもトア・ロードしかできなかった。はきだおれ神戸の異名をとるにふさわしい神戸物語。クロスは、昭和12年に紳士靴の別注店としてスタートし、戦後は、靴の専門店となり、舶来ものが入り始める頃、神戸では初めてのスイス「バリー」の専門店(約十年前)となり、昭和四十年にはさんちかタウンへ婦人靴の店を出している。ご主人の清水俊夫さんは、自らがこまめに仕入れて、ディスプレイにも、接客にも細心の努力をはらう神戸商人だ。

「この百貨店でも売れなかったバリーを十年前、200足注文して神戸のここにしかないという特色を出して、バリーファンに喜ばれ、今は約120種類ぐらいサイズも揃えてキープしています。だから、東京、名古屋、横浜、京都と新幹線のお客さまが多いですよ」

ここのスペインの民芸家具も独特の仕入れて、手づくりの風合いが楽しく、日本でも別注家具の高価さを考えると、値段も意外に安い。この秋は、マドリッドや、バレンシアのルネッサンス様式の家具が入ってくる。

一階は、バリーシューズに、香水、シックなバッグ、600本近いネクタイの箱、灰皿や、プレタやセーター、家具、ワイン棚、チェスの道具、ユニークなコヒセツト、陶器類が、清水さんの趣味でコレクションされている。

「トア・ロードは、オリジナルの変ったもの、新しいものを選んで置いてないとだめなんです。高級品だからお客さまにあわせていくと、ファッション性の高いものでなく、流行に左右されない。ほんものの『良い品』でないと……。固定客が多いですから品選びがとて難しい。これからも中年のお客さまで、オーソドックスを買っていただいてもあきのこないもの売って行きたいですね」

こまやかに、こまめに気づかう、デリケートな商いをする清水さんの横に、いつもほほえみを忘れない品の良い美しい奥さまが、接客されるので、どこかファミリーな落ちついた買い物ができる。

また清水さんは、トア・ロード会の役員さんでもあり、無類の世話好き。早く山から海へのこの坂道が、シックな煉瓦の道となつて、元町とつながればと思う。絵になる店『クロス』が、絵になる坂道にあればもっとステキだ。この十月、生田前筋の「銀釜」の後に、小ものの舶来雑貨だけを扱う「クロス」の支店が生まれる。

世界の逸品をコレクトする クロス



ユーズとスペイン家具

ネクタイは男の勲章

ミリタリーシリーズ <2>



ペロ
〈ドイツ〉



ORIGINAL LACO
Reine Seide

ラコ
〈ドイツ〉

PURE SILK
John Comfort
LONDON-ENGLAND

J・コンフォート
〈イギリス〉

Guy Dormeuil
PARIS

ギードーメル
〈フランス〉

POROS
COMO ITALY

ポロス
〈イタリア〉

Vittorio
Vittorio

ビットリオ
〈イタリア〉



ネクタイの

元町バザー

神戸元町 | 番街 TEL331-7031 東京 東急百貨店 渋谷本店 / 日本橋店



枯葉色のジョンストン氏の秋
香り高い宮水珈琲がやすらぎの時を

A・D・ジョンストンさん

△サイタ号 キャプテン

■ にしむらとエトランゼ ② オーストラリア

カメラ／米田定成

中山手にしむらで

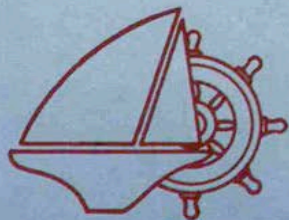


宮水COFFEEの

にしむら 珈琲店

中山手本店〈中山手1丁目〉221-1872 午前8時30分～午後11時
石屋川店〈阪神石屋川駅浜側〉841-0763 午前8時～午後10時
センター街店〈三宮センター街〉391-0669 午前10時～午後10時

すっかり秋



Marine Boutique

CHASSE

Kobe International Hotel Shopping Arcade
(078) 251-8161 Ext. 321



トランスグローバル

本社★神戸<221>2603 営業所★東京・名古屋

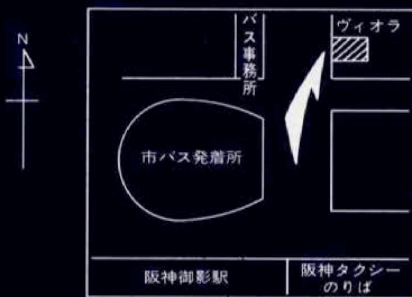


Couture

Violat
ヴィオラ

10月中旬 Open *

あなたの秋の女らしさを
演出する〈ヴィオラ〉の
Fall Collection
エレガンスレディの
おいでをお待ちしています



神戸市東灘区御影中町一丁目9-4
阪神御影駅北50m TEL (841)1248





boutique

アキバ

神戸店 大丸前山側角 Tel.(078)331-7857

大阪店 ミナミ地下街紅のまちボタン通り Tel.(06)213-6158

ニューライフに合せた秋のコーディネート

10月のインタビュー 小泉美喜子〈神戸っ子編集部〉



GRAND RE-OPENING
10月18日 OPEN



DAIMARU KOBE
電話 (078) 331-8121 (大丸)

2F ファッションストリートをたずねて

10月18日増築の装いも新たな大丸の2F ファッションストリート婦人服部、担当部長の田中益雄さんをたずねました。秋のニューズシャルライフに合せたコレクションから、おしゃれ神戸の楽しさが漂います。左田中部長、右は本誌小泉美喜子。

フアッシュンシティコウベの秋九月十八日に、神戸大丸は、西北角の元町よりのコーナーを増築、初お目みえします。コミュニティのなかの大丸をと、人間の集う暖かさを意識したデパートの新しい門出に、神戸っ子の眼は集まっています。とくに今月は、おしゃれなレディのために、大丸が力を入れる二階のフアッシュンストリートを編集部で訪ねてみました。

ウンシウェアなどいろんな新しい傾向のファッションがコーディネートされた、マネキンのデイスブレイを眺めながら、おしゃれにトライ。コンサルタントの松浦さんが選んでくれたのは、ジバンシィ・ブレタのダークなルージュのミモレのワンピース。そして小さなブラックショルダーもそえて。ちよっといい気になって歩いていると、にこやかな婦人服飾部長の田中益夫さんの笑顔と出会って、さっそくインタビュー。

田中「ええ、このファッションサロンは、お客さまのコミュニケーションの中から選んでいただくというねらいでプレタサロン、ニットサロン、ジバンシーサロンといった具合に、服種別にわけてあるんです。

ニューライフは、ヒルとヨルのコミュニティウェアとラウンジウェア、またソーシャルウェアが脚光をあびてきましたね。ロングドレスを好まれる方が多くなったのも、



(ラウンジウェアのコーナー)

その表われだと思っています。それに、朝は朝のファッション、午後は午後のいろいろな要素が沢山あるので、TPOの細分化を感じますね」

小泉「とくに神戸の女性のショッピングは、おしゃれだからうるさいでしょうね」

なくいいものをバラエティに富ませて選んでこないとだめ。神戸の女性の選眼力に太刀打ちできないですからね」

小泉「デパートでファッションを
選ぶ良さはどんな所に」

田中 デパートのなかはブティックですから、ブレタから、パンタロン、セーター、コート、アクセサリー、靴まで何でもあるので、サリ、お買物をなさる方の生活を考えて、適確なトータルコーディネートができることですね。お好みとサイズがわかれば、コーディネートに電話だけでも注文できるようになりますからね」

小泉「増築後、どんなことに積極的にアタックをされま
すか」

田中「神戸の街が、ファッションシティを宣言している
ので、神戸商品をたとえばK・F・Aコーナーを強化
したり、ファッションフェアに参加したり、街の中のデ
パートの位置を意識して、売場の演出を考えて行きたい
ですね」

ファッション市民大学にも、積極的に参加されている田中部長だが、百貨店がコミュニティ方式をとりだした姿勢は、何よりも地元と密着した庶民感覚だ。

おいしいものを食べた充実感
忘れられへんのやわあ



特価
おどきのみ
お昼
¥450-

二つ茶屋
とんかつ一着

本店 神戸市生田区元町通1丁目24
TEL 神戸078(331) 0755代

お茶子
二つ茶屋

芦屋店 国鉄芦屋駅山側
TEL 芦屋0797(22) 0147

最高のKobe Beefが手軽に味わえる店



ビーフステーキの店

H HOOK
フック 東店

神戸市生田区栄町 1-5-3
TEL (078) 321-3207~8

食欲の秋です。

この秋はフック東店のステーキで
スタミナをつけてください。

12人から15人までのパーティにも
ご利用いただけますのでいつでも
どうぞ。

ご予約も承ります。